

2019年 安全報告書



叡山電鉄株式会社

2019年 安全報告書

<目次>

1. ごあいさつ	3
2. 基本方針と安全目標	4
(1) 基本方針	
(2) 安全目標	
3. 事故等の発生状況	5
(1) 鉄道運転事故	
(2) 災害	
(3) 輸送障害	
(4) インシデント	
(5) 行政指導等	
4. 輸送の安全を確保する取り組み	9
(1) 安全重点施策	
(2) 安全教育	
(3) ホームの安全性向上	
(4) 安全性向上のための設備等の改善	
5. 安全管理体制	17
6. ご連絡先	18

1. ごあいさつ

平素は叡山電鉄をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当社は行動規範として「お客さま第一主義で安全とサービスの向上に努め、信頼の輪を広げます。」と定め、社長以下全社員が一丸となって、安全輸送及びサービス改善に取り組んでおります。

さて、2018 年度は 9 月に発生した台風 21 号による倒木災害の影響により、全線復旧まで 52 日間にわたっての運休を余儀なくされ、ご利用の皆さまに多大なご不便をおかけいたしました。このことを深くお詫び申し上げますとともに、自然災害の脅威が増しているなかで、減災への備えを進めてまいります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取り組みや実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

安全への取り組みに終わりはありません。お気づきの点などございましたら、ご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

叡山電鉄株式会社

取締役社長 豊田秀明

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社は、安全に対する基本方針を次のように定め、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 安全最優先の原則のもと、常に輸送の安全確保に努め、安全適切な処置をとります。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程類を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 安全管理体制を適正に運用するとともに継続的な改善を図ります。

(2) 安全目標

「有責運転事故ゼロ」

当社は2004年10月以降、有責事故ゼロを続けておりますが、これからも「有責運転事故ゼロ」を安全目標とし、事故の防止に全力で取り組んでまいります。

3. 事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

2018年度は、踏切障害事故、鉄道人身障害事故が各1件発生しました。

◆鉄道運転事故の分類

種類	内容
列車衝突事故	列車が他の列車または車両と衝突し、または接触した事故
列車脱線事故	列車が脱線した事故
列車火災事故	列車に火災が生じた事故
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故
道路障害事故	踏切道以外の道路において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故
鉄道人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故 (上記の事故に伴うものを除く)
鉄道物損事故	列車または車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故(上記の事故に伴うものを除く)

・2018年5月15日(火) 修学院駅～宝ヶ池駅間 【鉄道人身障害事故】

2018年5月15日、22時22分頃、第2201列車が修学院駅～宝ヶ池駅間を走行中、線路脇の草むらから突然、線路内に飛び出してきた人影を発見、直ちに気笛吹鳴と非常制動を行うも接触して停車した。

【原因】線路内への公衆立ち入り。

・ 2019 年 1 月 7 日（月） 宝ヶ池駅～三宅八幡駅間 【踏切障害事故】

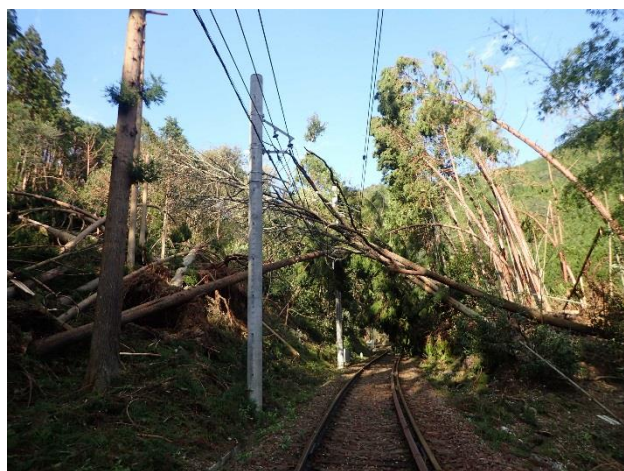
2019 年 1 月 7 日、9 時 25 分頃、第 902 列車が三宅八幡駅～宝ヶ池駅間を走行中、本線宝ヶ池 1 号踏切にてダンプカーが線路内を支障しているのを発見、直ちに気笛吹鳴と非常制動を行うも列車の左側面とダンプカーのミラーが接触して停車。車両に若干損傷はあったが、お客さま等に怪我はなかった。

【原因】ダンプカーの踏切道内への侵入。

（２）災害（地震、暴風雨、豪雪等による被害）

2018 年度は、台風 21 号による自然災害が発生しました。概要は以下の通りです。
長期にわたる運休により、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

- ・ 発生日時 2018 年 9 月 4 日（火） 15 時頃
- ・ 発生箇所 全線（特に二軒茶屋駅～鞍馬駅間が重篤）
- ・ 発生内容 倒木 約 150 本、架線柱倒壊 20 本、高圧線、信号通信線断線 多数等
- ・ 運転再開 二軒茶屋駅 ～ 市原駅間 9 月 7 日（金） 17 時
市原駅 ～ 貴船口駅間 9 月 27 日（木） 初発
貴船口駅 ～ 鞍馬駅間 10 月 27 日（土） 初発



（３）輸送障害（30 分以上の遅延や運休）

2018 年度は、輸送障害が 3 件発生しました。

- ・ 2018 年 7 月 5 日（木） 西日本豪雨に伴う部分運休

2018 年 7 月 5 日から 7 日にかけての断続的な降雨により、貴船川の雨量が規定値を越えたため、また沿線に避難指示が発令されたことにより、以下の通り運休した。

運休区間：二軒茶屋駅 ～ 鞍馬駅間	7 月 5 日 15:00～7 日最終
宝ヶ池駅 ～ 二軒茶屋駅間	7 月 5 日 21:00～7 日 19:00
修学院駅 ～ 八瀬比叡山口駅間	7 月 6 日 11:00～7 日 19:00

- ・ 2018 年 7 月 29 日（日） 台風 12 号による倒木に伴う部分運休

2018 年 7 月 29 日、5 時 25 分頃、台風 12 号の接近に伴い市原駅～二ノ瀬駅間で倒木が発生。二軒茶屋駅～鞍馬駅間を部分運休し、倒木を撤去、試運転ののち 10 時 00 分に運転を再開した。

- ・ 2018 年 11 月 9 日（金） 鞍馬線停電に伴う部分運休

2018 年 11 月 9 日、9 時 05 分頃、鞍馬線高圧線・電車線の停電が発生。9 時 20 分に復電するも、9 時 50 分再度停電発生。電車線は復電したが、高圧線は復電しないため宝ヶ池駅～鞍馬駅間を部分運休とした（駅間停車列車は最寄駅まで移動）。高圧線を点検のうえ、12 時 30 分に宝ヶ池駅～市原駅間を運転再開、13 時 50 分に市原駅～鞍馬駅間を運転再開。

【原因】市原駅～二ノ瀬駅間の高圧線・支持碍子損傷のため（補修・取替にて復旧）。

（４）電気事故（感電死傷、電気火災、供給支障事故等）

２０１８年度は、電気事故は発生しておりません。

（５）インシデント（事故の兆候）

２０１８年度は、インシデントは発生しておりません。

（６）行政指導等

２０１８年度は、国土交通省からの行政指導等は、ありませんでした。

4. 輸送の安全を確保する取り組み

(1) 安全重点施策

2018年度の安全重点施策を次のように定め、取り組んでまいりました。

1. 安全管理体制の確立

- ① 鉄道従事員として、職責の自覚と確実な業務の実施
- ② 規程類の定着・見直しと活用
- ③ 教育・訓練および部署・階層を超えたコミュニケーションの充実
(協力会社含む)
- ④ ヒヤリハット・事故の芽報告の充実と活用

2. 安全関連投資の実施

- ① 鞍馬駅付近軌道改良
- ② PTCおよび放送装置更新
- ③ 722号車車両改修

（２）安全教育

お客さまの安全を確保するため、全社員を対象に各種教育訓練、業務研修会等の教育を行っています。２０１８年度に実施した主な訓練は以下の通りです。

① ２０１８年４月９日～１２日 転てつ器手回し訓練

転てつ器の故障時における手回し訓練を行いました。



② ２０１８年６月２５～２９日 委託工事責任者等係員に対する教育

協力会社の工事責任者等に対する安全教育を行いました。



③ 2018年8月22日～9月2日 英会話研修

海外からのお客さま案内の向上のため、英会話研修をロールプレイ形式で行いました。



④ 2018年8月29日 総合事故復旧訓練

踏切道における衝突脱線事故の発生を想定し、連絡通報、お客さま避難、復旧作業、運転再開に至る全社総合的な訓練を行いました。



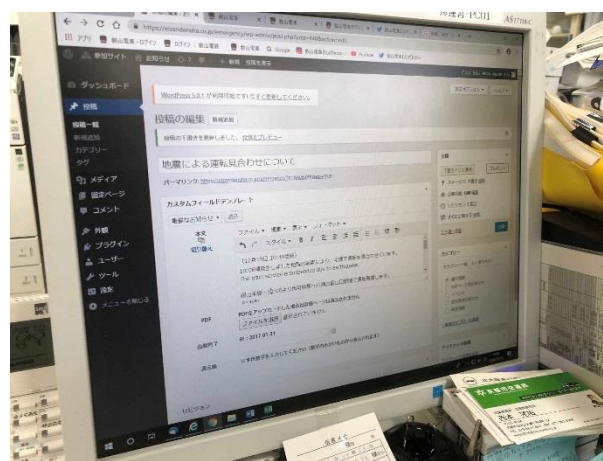
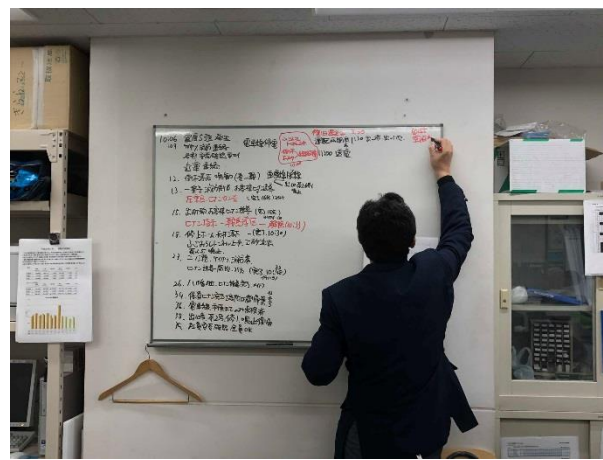
⑤ 2018年9月18～20日 代用閉そく（指導式）取扱訓練

単線区間で閉そく装置の使用不能時を想定し、代用閉そくの取扱訓練を行いました。



⑥ 2018年12月19日 総合防災訓練

大規模な地震の発生を想定し、お客さま避難誘導、HP等案内、巡視点検、運転再開に至る全社総合的な訓練を行いました。



⑦ 2019年1月16日 火災消防訓練

出町柳駅にて、火災の発生を想定した訓練を駅構内店舗と合同で行いました。



⑧ 2019年3月5日 鉄道テロ対応訓練

駅等におけるテロの発生を想定し、お客さま避難誘導、点検等の訓練を行いました。



（３）ホームの安全性向上

ホームの安全性向上を目指し、各種設備の改善等を進めているほか、視覚障害のある方への「見まもり・声かけ」の強化やお客さまへの声かけ啓発を促進しています。

2018年度は宝ヶ池駅に内方線付き点状ブロック、鞍馬駅に内方線付き点状ブロックおよび誘導ブロックを新設しました。また、ホームにおける列車が停止しない区間からの転落防止として鞍馬駅にホーム転落防止用固定柵を新設しました。



内方線付き点状ブロック（宝ヶ池駅）



内方線付き点状・誘導ブロック（鞍馬駅）



転落防止用固定柵（鞍馬駅）

（４）安全性向上のための設備等の改善

安全性向上のため、計画的に設備、車両等の改善に取り組んでおります。２０１８年度に実施した主な工事は以下の通りです。

① 車両の改修

老朽化した車両について、車体の改修や電線類、制御機器類等を更新して延命化を図るとともに、バリアフリー対応を行う。

・ ７００系車両 １両（７２２号車）



② 自動放送装置システム更新

駅自動放送装置を更新するとともに、簡易列車接近表示器を設置し、列車入駅時にお客さまへの注意喚起を促すメッセージを表示し、列車との接触防止を図る。



出町柳駅



二軒茶屋駅

③ 鞍馬駅付近軌道改良

分岐器の重軌条化（40N→50N）、道床の硬質構造化およびP Cまくらぎ化を実施。

- ・ 鞍馬駅No.36 転てつ機付近



④ 落石等防護設備新設

隣接する斜面からの落石等に対し、フェンスを設置し防護するもの。

- ・ 三宅八幡駅～八瀬比叡山口駅間
- ・ 市原駅～二ノ瀬駅間



⑤ 自動改札機増設

出町柳駅に自動改札機を1台増設し、お客さま動線の錯綜防止を図るもの。

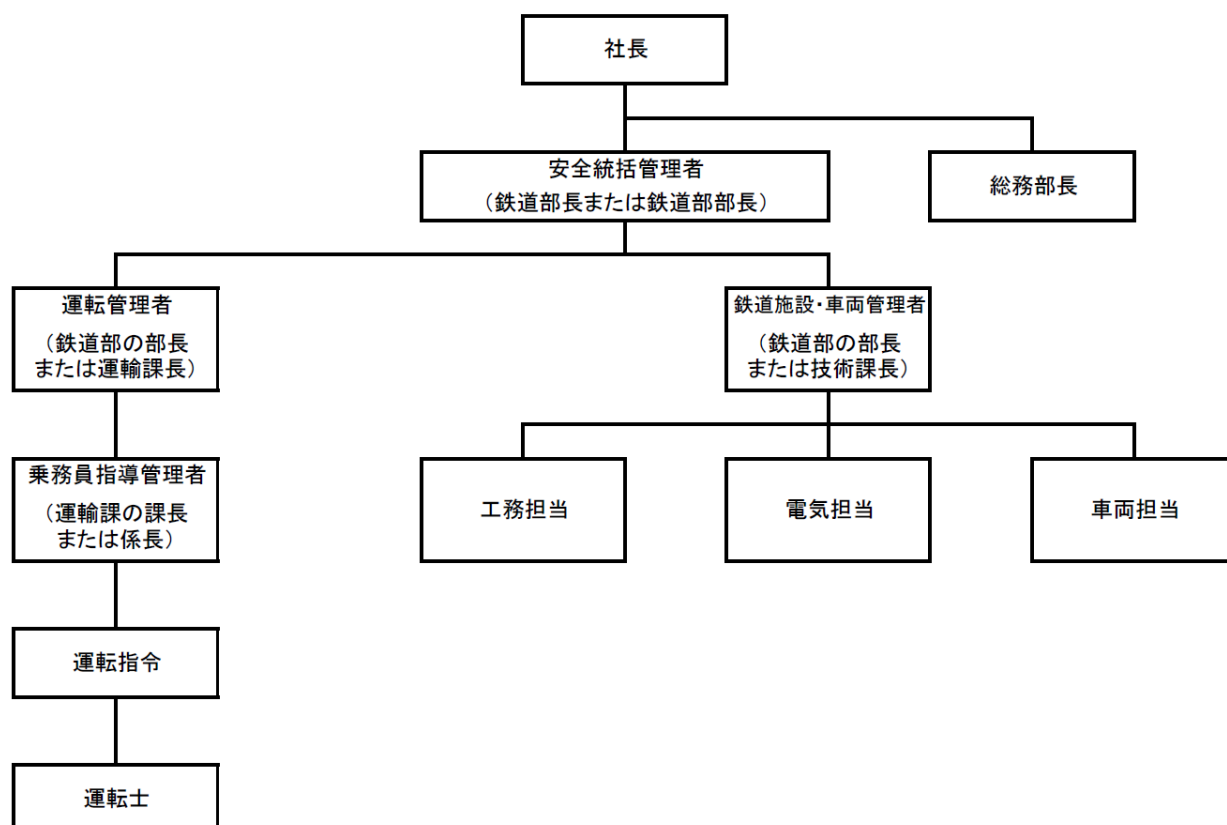
- ・ 出町柳駅 1台



5. 安全管理体制

当社では、輸送の安全を確保するために「安全管理規程」を定め、社長をトップとする安全管理体制を下図の通り構築しています。

◆安全管理体制図



◆管理者などの役割

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関し、指示を行い最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の維持に関する事項を管理する。
鉄道施設・車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設および車両に関する事項を統括管理する。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画等の事項を総合的に管理する。

6. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見がありましたら以下へ
お願いします。

叡山電鉄株式会社 総務部

〒606-8007 京都市左京区山端壱町田町 8 番地の 80

T E L 075-702-8110 / F A X 075-702-4522

※土・日・祝日と年末年始を除く 9:00～17:00